



# 議会だより



友好都市 高山市と越前市の両議員による行政懇談会が、10月8日・9日に高山市で開催されました。  
(8頁に関連記事)

主な内容	予算・条例審査	2～4頁
	一般質問	4～7頁
	人事など	8頁
	審議議案一覧	9頁
	委員会審査など	10頁

## 9月定例会の概要

平成20年第5回越前市議会定例会は、9月8日から9月24日までの17日間にわたって開かれました。この定例会では、市長提出の補正予算案7件、平成19年度各会計決算認定案14件、条例案6件、一般議案3件、人事案件6件、推薦案件1件、請願4件、意見書5件が提案され、議員からは会議規則案1件が提案されました。各会計決算認定案及び請願1件は閉会中の継続審査とし、その他の議案は、本会議の審議、委員会の審査を経て、採択の結果、いずれも可決・認定しました。

また、一般質問には14人の議員が市政全般にわたって質問を行いました。

平成20年  
9月定例会

予算審議

※( )内は質疑をした議員名

# 総額 8億9,993万円の追加補正予算

補正額 一般会計 4億6,680万円(補正後296億4,560万円)

特別会計 4億3,313万円(補正後229億8,705万円)

■福井鉄道福武線活性化事業

70万円

(玉村・城戸議員)

問 福武線活性化連携協議会で住民アンケートを実施したときが、その結果はどうだったのか。

答 福井市・鯖江市・越前市でそれぞれ2000件のアンケートを実施して、現在回収並びに集約を行っている最中なので、分析が出来次第公表させていただきます。

■農業生産総合対策事業

40万円

(川崎・大久保議員)

問 そばの特産化は、兼業農家の多い越前市にとっては転作物として有効ではないか。

答 今回は県の事業であるが、農家への支援や農協との連携により、越前そばを特産作物として推進していきたい。

■水稲振興対策事業

150万円

(嵐・金子議員)

問 減反等により田が荒れているが、レンゲ草を栽培することで土壌改良が期待できるので、全地域へ普及してほしい。

答 今回は3地区で3haを予定しているが、農協と連携し全地域に普及を図っていききたい。

■社会参加促進事業

148万円

(玉村議員)

問 障害者自立支援法の施行により利用者負担が大きくなったが、障害者からの声を聞く機会をどう考えているか。

答 障害福祉計画、障害者計画等の作成を進める中で、施設又は当事者、保護者とワークショップ等を開催し、関係者の声を反映させていきたい。

■園芸振興対策事業

150万円

(川崎議員)

問 本市の園芸農家は高齢化が危惧されるが、この熟練農業者を支援する取り組みが必要ではないか。

答 熟練農業者や女性農業従事者の豊富な経験を活用して園芸の振興を図るような支援をしていきたい。

■道路除雪対策事業

326万円

(佐々木議員)

問 建設業界は倒産が相次いでいるが、このような中、市全体で昨年並みの除雪体制が維持できるのか。

答 昨年も廃業した業者があったが、建設業界や隣接業者の協力をいただき冬期間の安全な通行を確保できた。今後も昨年同様に協力を求めて対応していきたい。



レンゲ畑

■南越清掃組合分担金

1692万円

(片粕議員)

問 今回のような大規模な修理については、補正計上ではなく定期的なメンテナンスの中で早期発見をして計画的な対応をすべきではないか。

答 今回は、施設の痛みが当初の予想以上に激しかったため、補正計上させていた。

## 予算審議

### ■市民バス運行委託料債務負担行為

530万円  
(城戸議員)

問 この委託料の中では、利用率アップに向けたダイヤ改正や福武線西武生駅を連結点とした抜本的な市民バスのあり方も検討されているのか。

答 今の運行形態は19年度にスタートしており、毎年バス停が変わると逆に市民の利便性が損なわれるので3年間ぐらいは現状のままで運行をしたい。市民バスと福武線の連結を想定しながらお願いしている。

### ■小中学校連携教育推進事業

60万円  
(関議員)

問 この事業は小中学校の円滑な一貫した指導を実践するための研究となっているが、越前市での取り組みは。

答 万葉中学校を拠点に、小中学校が連携して9年間一貫したカリキュラムを作っているもので英語や道徳の科目を想定している。

### ■公園整備事業

1億9386万円  
(中西議員)

問 瓜生水と緑公園は膨大な費用がかかっており、丹南総合公園と比べても割高ではないか。

答 用地単価については、下水道処理施設用地買収を行っていた当時より相当地価が下がってきているので、現時点で再評価した適正な価格で地権者をお願いしている。

## 一般議案審議

### ■工事の請負契約について

(中西議員)

問 越前市は、原油の価格高騰対策を打ち出しているが、この武生東小学校の屋内運動場改築工事はその対象になるのか。

答 設計時点の資材単価が入札時の価格、現場搬入時の価格と大きく変わった場合は、請負代金の変更を行うことになり、この工事についてもその対象となる。

## 条例審議

### ■越前市市税賦課徴収条例の一部改正について

(前田修・中西議員)

問 個人住民税を年金から天引きすることになると、分納相談など生活困窮者の対応についてどう考えるか。

答 国の地方税法の改正に伴い特別徴収するものであり、市としては法令に基づき適正に事務を行う。

### ■地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

(城戸議員)

問 この中に特別職報酬等審議会条例の改正があるが、市長と議員の報酬は別に考えるべきではないか。審議会のあり方も含めて見直す考えはないか。

答 特別職の報酬については、報酬審議会で議論いただいているので、審議会にこのような意見があったことを伝える。

### ■松ヶ鼻頭首工改修県単調査事業

500万円  
(城戸議員)

問 この改修事業にかかる越前市の負担はどれぐらいになるのか。

答 負担割合については国が55%、県が37%で地元が8%になっており、この8%の負担を関係する福井市、鯖江市、越前市で協議している。

### ■花筐小学校屋内運動場耐震補強事業

570万円  
(細川・玉村・中西議員)

問 現在、委託に関しては最低価格の基準はないが、極端に低い落札額には不安を覚える。極端に低い落札価格に対する考えは。

答 競争入札であるので価格競争の原理の中で決定している。最低価格制限を設けるかどうかは、今後検討していく。

### ■繰越金

8477万円  
(大久保・城戸議員)

問 前年度の実質収支で12億8000万の黒字だが、額が確定した9月の段階で全額繰越金として予算に上げるべきではないか。

答 6月に3億、9月に8400万を計上しており、残り年度内の行政需要を見ながら補正財源にさせていただきたい。



東小学校屋内運動場建設地

## 条例審議

### ■越前市斎場設置及び管理条例の一部改正について

(城戸・玉村・玉川・中西議員)

問 指定管理者に移行することで使用料が変わったり、個人情報保護の保護には問題はないのか。

答 使用料や個人情報の取り扱いについては、条例で規定されており指定管理者に移行しても変わることはない。

### ■越前市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定について

(大久保・城戸・玉村・中西議員)

問 この条例改正で緑地面積率が緩和されて、市の環境政策が後退するのではないか。

答 企業は環境法令を遵守し環境改善活動も積極的に推進しているため、環境行政が後退するとは考えていない。

### ■越前市監査委員条例の一部改正について

(城戸議員)

問 国は決算重視の方向で、市も監査部門の充実と出納機能の強化が重要な課題である。常勤の監査委員をおいてはどうか。

答 国や全国の流れを注視しつつ、まずは事務局の充実から取り組みながら検討させていただきたい。



越前市斎場

## 一般質問

政新会 伊藤 康司

### 雇用促進住宅の購入について

Q 雇用促進住宅の中には新しい物や一部リフォームすれば十分使用できる物もある中で、市営住宅として雇用促進住宅の購入は考えられないか。

A 地域住宅整備計画では今後10年間は現在の市営住宅戸数で足りると推測しており、新しい市営住宅の必要性はなく購入は考えていない。

### 市営住宅の現状について

Q 現在、今立地区の市営住宅は入居募集停止や既に入居中で空きがない状態である。この状況をどう考えるか。

A 若干の空きはあるが、現在、給湯設備の改修や下水道接続工事のため工事完了後に募集を予定している。市全体では市営住宅戸数には余裕があると考えている。

震災訓練のための地区代表者会議



廃止が予定される王子保雇用促進住宅

新世紀・市民派ネットワーク 上山 直行

### 全国学力テストについて

Q 全国学力テストの結果が公表され、福井県は優秀な成績であった。結果公表を開示することについて賛否両論の意見があるが、越前市としての見解は。

A 学校の序列化により過度の競争をおおるといふ学校教育への影響を考えると、開示しないこととしたい。

### 防災について

Q 危機管理については、住民の理解を深める対策、情報伝達等の充実、ゲリラ豪雨を想定した防災、災害対策が必要と考えるが、市としての考えは。

A 住民の理解を深めるため、今後とも機会をとらえた周知や出前講座等により住民の防災意識の向上に努めたい。

# 一般質問

日本共産党議員団 玉村 正夫

## 指定管理制度について

Q これまで多くの公の施設が指定管理者に移行したが、評価委員会での検討内容と所管部局での対応は。

A 評価委員会では10月の市長報告にむけて評価結果報告のまとめに入っており、所管課はその評価を踏まえ、次回の募集要項や選定会議に反映させていく。

## 介護保険について

Q 今回、認定のための調査項目が削減されると実態とかけ離れた認定となり、介護の取り上げにつながる恐れがあるが、この点への配慮は。

A 国は認定調査項目の削減は給付抑制を目的としていないと明言しており、介護の取り上げにはつながらないと考えている。

公明党議員団 関利英子

## 妊婦検診について

Q 妊婦健診は、越前市では第一子・第二子が5回、第三子以降が14回助成されているが、第一子・第二子も14回の助成とならないか。

A 昨年より第三子以降は14回全てを無料としているが、第一子・第二子も必要と認識しており、他市の状況を踏まえて検討していきたい。

政新会 城戸 茂夫

## 吉野瀬川ダムについて

Q 豪雨の災害に対しダムの建設は効果的だが、近年大雨のたびに対策本部が設置される吉野瀬川については、一日も早いダムの完成が望まれる。

A 平成21年度春に主要地方道武生米ノ線の付替え区間の暫定供用が予定されており、ダム本体の着工に向けて大きく前進すると考えている。

新世紀・市民派ネットワーク 三田村 輝士

## 総合的サービスについて

Q 障害者等の世帯において、世帯全体を総合的に支えるサービスの創設が必要ではないか。

A 公的サービスの対象とならないケースについては関係機関と連携して対応しているが、今後は、既存の公的福祉サービスの改善や弾力的な運用を研究していく。

南越清掃組合認定のレジ袋



指定管理者に委託されている王子保駅前駐車場

## レジ袋の有料化について

Q レジ袋の有料化を実現するには、慎重で大変な準備が必要であるが、現在の越前市の進捗状況は。

A 市民と事業者の方々の理解を得ることが大前提であり、早急に関係事業者と情報交換を行いレジ袋の有料化実現に向けた合意形成を図っていきたい。

## 公共投資の増大について

Q 不況の中、地元企業から景気対策の要請が相次いでいるが、予算計上された繰越金の一部を優先的に投資的経費に振り向けられないか。

A 景気後退により法人市民税収入にも陰りが出ており、今後厳しい財政運営が続くと見込まれるので、繰越金は健全財政の確保に活用したい。

## 地域福祉計画について

Q 計画を実行する中で得たものを市の福祉政策に活かしていくために、地域福祉計画の進行管理を行う組織を作つてはどうか。

A 進行を管理する組織は必要であると認識しており、どのような形で進行管理をするか策定委員会で協議する中で検討させていただく。

# 一般質問

諸派 中西眞三

政新会 小形善信

新世紀・市民派ネットワーク  
大久保恵子

自由クラブ 題佛臣一

## 人間ドックについて

Q 広域連合における人間ドック助成はまだ定まっていないが、その体制が出来るまでの間、越前市独自の助成は考えられないか。

A 人間ドック全体の考え方としては保険者の責務で保健事務をやるべきであり、今後とも保険者である広域連合に對して要望していく。

## 停電対策について

Q 災害時の情報発信の拠点である市役所が、停電になった場合のバックアップ対策はどうなっているのか。

A 長時間にわたる庁舎の停電については、自家発電も含めた非常用電源の確保は大きな課題であり、十分に検討して対策が講じられるものは講じていきたい。

## 文化イベントについて

Q 越前市には源氏物語アカデミーや薪能など市民が作り上げてきた文化的なイベントが多数ある。これを越前市の観光資源として位置付け、市の活性化につなげてはどうか。

A 市の観光振興プランの中でも観光素材として高く評価しており、長年市民の皆さんが積み上げたものを有効に活用させていただきたい。

## 浄化センター工事について

Q 先の議会で多くの議員から要望のあった家久浄化センター建設工事の地元発注はどのような結果であったのか。

A 日本下水道事業団に対し、市長名で市内の業者に工事発注されるよう要望した結果、越前市内に建設業許可に係る本店を有する業者が対象となった。

## 排水対策について

Q 河川の流下水量やゲリラ豪雨を予測し、市内全体を網羅した治水計画を考えるべきではないか。

A 被害のあった箇所には計画的な対応が必要であり、局部的な改修や河川の適正な維持管理に努めるとともに、河川改修に対しては事業者の県へも強く要望していきたい。

## パートナーテーブルについて

Q 市は4月に協働のガイドラインを策定したが、市民との協働は、まず職員の意識改革が必要と考えるが。

A 全職員を対象に11回の研修を開催しており、本年度からは事務事業評価にも協働の視点を取り入れ、更なる意識付けを図っていきたい。

外国人園児への保育補助



今年の源氏物語アカデミー

## 景気対策について

Q 県では相次ぐ建設会社の破綻を受けて、事業の前倒し発注や原油高騰対策等を行っている。越前市ではどのような対策を行っているのか。

A 庁内に原油等高騰対策会議を設置し、工事の早期発注や地元発注に努め、鋼材類の値上げに対応した単品スライド措置も講じている。

## 外国人園児について

Q 市内の幼稚園や保育園には日本語の理解できない子どもがかなりいると思うが、その子どもに対する取り組みは。

A その大半がブラジル国籍の児童で、ポルトガル語の話せる補助職員2名が、週1回から2回保育園を巡回し、子育ての悩み相談や保育補助業務にあたっている。

# 一般質問

日本共産党議員団 前田 修治

公明党議員団 吉田 慶一

## 雇用促進住宅について

Q 雇用促進住宅の廃止に伴い、国が居住者に一方的な退去を迫るやり方に対して、市はどのように考えるか。

A 今回の、入居されている方々の生活を無視した国や雇用・能力開発機構の対応には憤りを感じており、国や機構に対しては責任を持った対応を訴えている。

Q 下水道の接続工事は工費がどれくらいかかるかわからない。市として設置者が安心できる一定の基準、目安を示すべきではないか。

A 工費は宅地によっても違うので、説明会資料に入っている工事店一覧の中から数社の見積をとって検討していただくように説明している。

## 業務の委託について

Q 公園遊具等の点検業務委託は、職員が専門的な知識を持つていないと監督指導が出来ない。専門知識を持った職員が監督にあっているのか。

A 監督職員については、基本的な知識は取得しているが専門的なことについては、随時機会があるごとに研修に出たいと考えている。

## 下水道接続工事について

## フイルム図書館について

Q 既存の図書館の良い所を残し、一部を電子化することで高齢者や多忙なビジネスマンなどの図書館の利用度が増すのではないか。

A 古い資料や新聞などの貴重で大切な資料は、マイクロフィルムで保存しており、閲覧の多い物から順次電子化に心がけていきたい。



マイクロフィルムで管理される貴重な資料

調理室のIHクッキングヒーター(南中山小学校)



## 学校調理設備について

Q 北新庄・南中山小学校の調理室に導入されたIHクッキングヒーターでは、火加減などの安全教育が教科書どおりにできないのではないか。

A 引火事故が少なく二酸化炭素の排出がないことや普及率など多くのメリットがあるが、導入にあたっては設計段階で学校現場と協議をした中で決定した。

Q 雇用促進住宅を子育て支援や定住化のため、この機会に普通財産として買い取って活用できないか。

A 市内全域を対象として、とりわけ若い世代を念頭に一層の定住化を図るため、どのような住宅取得等に対する支援制度を拡充できるか、今庁内で議論している。

諸派 細川 かをり

## 文化事業について

Q 格調高い文化都市づくりに向けた価値のある歴史文化事業に対して、市の認定制度を設けて支援をする考えはないか。

A 市の支援として後援や共催、事業補助や使用料の減免など幅広い支援をしているが、特定の文化芸術活動への認定制度の創設は困難である。

## 雇用促進住宅について

## 新庁舎建設について

Q 合併協定事項の新庁舎建設遵守に向けた市長としての責任と市民への理解は。

A 合併協定内容を尊重しているが、健全財政を基本に計画的に基金を積み立て新庁舎の建設を着実に推進していくことが現時点では妥当な方策だと考えており、市民の理解も得ていると判断している。

政新会 福田 往世

## 決算特別委員会を 設置

今定例会に提案され、閉会中の継続審査とした平成19年度各会計決算認定14案を審査するため、決算特別委員会を設置しました。選任された委員は次のとおりです。

なお、決算特別委員会は、10月6日から審査が始まり、次の12月定例会で委員会審査結果が報告されます。

### 決算特別委員会

委員長 伊藤 康司

副委員長 三田村輝士

委員 関 利英子

題佛 臣一

大久保 恵子

西野与五郎

福田 往世

中西 眞三

前田 修治

## 人事

●教育委員会委員の任命に同意

岩端 るみ子(堀川町)

●公平委員会委員の選任に同意

黒田 義明(新在家町)

●固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

片岡 建和(村国二丁目)

山田 昭榮(粟田部町)

田中才喜(豊町)

●人権擁護委員の候補者の推薦に同意

諏訪 大明(深草二丁目)

## 農業委員会委員

(議会推薦委員)

細川 かをり 川崎 悟司

大久保 恵子 西野与五郎

## 高山市議会議員との 行政懇談会が 開催されました。

越前市の友好都市、岐阜県高山市への視察研修を10月8日(水)・9日(木)に実施しました。研修では、「合併後のまちづくり」について、活発な意見交換を行いました。

その後は、指定管理者に委託されている高山市立図書館「煥草館」を視察し、図書館の運営について研修しました。



行政懇談会での活発な意見交換

## 12月定例会日程

▼12月3日(水)

本会議(決算委員会審査結果報告、質疑、討論、採決、提案理由説明)

▼12月8日(月)

本会議(代表質問)

▼12月10日(水)～12日(金)

本会議(質疑、委員会付託、一般質問)

▼12月15日(月)～17日(水)

各常任委員会、特別委員会

▼12月19日(金)

本会議(委員会審査結果報告、質疑、討論、採決)

※議事の都合により日程が変更になる場合があります。

## 議会史(旧武生市)を 販売しています

▼第一巻：明治維新～昭和30年

7000円

▼第二巻：昭和31年～49年

9000円

▼第三巻：昭和50年～平成8年

10000円

▼資料編・議会だより縮刷版

6500円

※全巻購入の場合は3万円で2500円お得です。

申込先 議会事務局

TEL (22) 3426



市立図書館「煥草館」



# 平成20年度9月定例会の審議議案

◎満場一致 ○賛成多数 ◇継続審査

## 【予算】

- ◎平成20年度越前市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
- ◎平成20年度越前市一般会計補正予算(第2号)
- ◎平成20年度越前市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- ◎平成20年度越前市老人保健特別会計補正予算(第1号)
- ◎平成20年度越前市介護保険特別会計補正予算(第1号)
- ◎平成20年度越前市ガス事業清算特別会計補正予算(第1号)
- ◎平成20年度越前市工業用水道事業会計補正予算(第1号)

## 【決算】

- ◇平成19年度各会計決算認定案14案

## 【条例】

- ◎地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- ◎公益法人等への越前市職員の派遣等に関する条例及び越前市認可地縁団体印鑑条例の一部改正について
- 越前市市税賦課徴収条例の一部改正について
- ◎越前市斎場設置及び管理条例の一部改正について
- ◎越前市監査委員条例の一部改正について
- ◎越前市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定について

## 【一般議案】

- ◎市道路線の認定について
- ◎工事の請負契約について
- ◎越前市土地開発公社定款の一部変更について

## 【人事議案】

- ◎教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- ◎公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- ◎固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- ◎固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- ◎固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- ◎人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

## 【推薦案】

- ◎農業委員会委員の推薦について

## 【会議規則案】

- ◎越前市議会会議規則の一部改正について

## 【請願】

- ◎燃料、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める請願
- ◇ミニマム・アクセス米の輸入停止を求める請願
- ◎「地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書」の採択を求める請願
- ◎消費者行政の体制・人員・予算の抜本的拡充を求める請願

## 【意見書】

- ◎地方財政の拡充・強化を求める意見書
- ◎地域医療を守る意見書
- ◎太陽光発電システムのさらなる普及促進を求める意見書
- ◎燃料、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める意見書
- ◎地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書

# 委員会審査

市長から提出された議案を審査するため、各委員会が開催されました。掲載記事は委員長報告の主な内容です。

## 総務委員会

■市税賦課徴収条例の一部改正について  
委員からは、今回の住民税の改正だけでなく、国民健康保険税、介護保険料など税体系全体の複雑化と、多重債務者の増加問題などで滞納が増え、生活実態に合わせた幅広い相談を受け付けるなど滞納整理に関する具体的な対応が求められているのではないかとただされました。

理事者からは、徴収対策本部の中で、鋭意、滞納整理に取り組んでおり、今後とも納税相談の中で担税能力の状況を的確に把握するとともに、庁内関係部署における情報交換や意識の共有を図っていく。さらに、多重債務者については、消費者センターとの連携も進めるなど、適切な対応を行い、債権の回収に努めていくとの答弁がなされました。

## 教育厚生委員会

■小中学校連携教育推進事業について  
委員から、具体的な事業内容についてたゞされました。

理事者からは、この事業は、小学校から中学校へ入学した際の学習や生活環境の変化から生じる学習意欲や学力の低下、不適応、不登校を予防するための県の新規モデル事業として、本年より3年間の委託事業として取り組むものである。小学校区の児童がそのまま中学校区へ行き、小中学校が連携できる学校として、県内7ブロックから8校が選ばれ、越前市では、万葉中学校が推進校として選ばれた。この事業の主旨としては、学習指導、生徒指導の円滑な接続、家庭地域との連携を3つの柱として、小中学校9年間の一体性のある教育をめざしていくものであるとの説明がなされました。

## 産業経済委員会

■大粒化・売れ筋米の生産推進事業について  
委員からは、肥料の価格高騰もあり、地力を付けるためにレンゲ草を植栽することを奨励することは良いことであるが、レンゲ草により養分が多くなりすぎることによる倒伏、また、田植えに際し、すき込みが不十分であると生育に影響があること等が危惧されることから、農家への指導徹底、さらには農業共済を加味して取り組むべきであるとたゞされました。

理事者からは、今回は1生産者2〜3反、10箇所を試験的に行うものであり、県の指導等を受けながら実施するものである。また今回の実験を検証し、今後、拡大して行うことになれば、農業共済の適用について共済組合と協議していきたいとの説明がなされました。

## 建設委員会

■道路除雪対策事業について  
委員からは、除雪単価は

県の単価を基準にしているが、業界の厳しい状況を考えると単価の引き上げを県へ要望することが必要ではないかとたゞされました。理事者からは、除雪については、公共事業が縮減する中で業界も大変な時期だと認識している。除雪単価については、近年暖冬傾向であり、今年度から初期投資に必要な固定経費を計上し、出動回数のない業者の負担を軽減した。今後も市民の足を確保することを第一に、社会情勢の変化に対応した除雪体制について県とも充分協議していきたいとの答弁がなされました。さらに委員からは、建設工事の発注に当たっては出来るだけ多くの業者に仕事が行き渡るような配慮が要望されました。



本会議の様子は、丹南CATVコミュニティチャンネルでご覧になれます。一般質問時には、質問項目一覧を放映するなど、分かりやすい放送に努めています。

## 市議会を傍聴しましょう

本会議は、住所、氏名などを記入するだけで、どなたでも傍聴できます。場所は本庁舎別館6階です。来庁は、なるべく公共交通機関を利用するか乗り合わせでお越しください。

### ■問い合わせ先

市議会事務局  
TEL (22) 3426